

宇和海の水産養殖（2）

主に 2 つの要因が、宇和海を養魚業に非常に適した場所になっています。

おあつらえ向きの地形

宇和海は最も新しい氷河期に形成が始まったリアス式海岸で有名です。宇和海の当時の海水面は現在よりも最大 100 メートル低く、川が山と海の上に深い溪谷を形作ることができました。約 10,000 年前に氷河期が終わり、地球の大気が再び暖かくなると、海がそれらの溪谷に流れ込み、今日見られる岩だらけの入り江に変えました。それらの入り江の輪郭が風や海流からの避難場所を提供し、1 年を通して魚の養殖を可能にしています。

類まれな海流

宇和海は九州と四国の中の暖かい豊後水道から一定して流れ込む、酸素を多く含む海水から恩恵を受けています。この海水は、黒潮によってもたらされる海面近くの暖かな水と、深海の冷たくて栄養分が豊富な水が混ざり合ったものです。この海流の相互作用が、水産養殖にとって理想的な条件を作り出す役に立っています。